

## 研究発表会開催通知

(昭和 63 年 2 月 15 日～ 3 月 31 日)

研究会	日	時	会場	備考
情報システム	2月16日(火)	13:30~17:00	機械振興会館	前号参照
設計自動化	2月18日(木)	13:00~17:00	同上	同上
マルチメディア通信と分散処理	2月19日(金)	9:30~17:00	同上	同上
プログラミング言語	2月19日(金)	13:20~17:00	東大	同上
情報学基礎	2月22日(月)	13:15~17:00	機械振興会館	同上
マイクロコンピュータ	2月23日(火)	13:30~17:00	同上	同上
グラフィクスとCAD	2月26日(金)	9:45~17:30	日本IBM	同上
オペレーティング・システム	2月26日(金)	10:20~16:45	機械振興会館	同上
文書処理と ヒューマンインタフェース	3月3日(木)	13:10~17:30	NTT(横須賀)	下記参照
知識工学と人工知能	3月10日(木)	9:30~16:55	機械振興会館	同上
計算機アーキテクチャ	3月10日(木)	13:30~16:30	同上	同上
数値解析	3月11日(金)	13:30~17:00	同上	同上
データベース・システム	3月15日(火)	9:30~17:00	慶大	同上
コンピュータビジョン	3月15日(火)	10:00~17:00	平凡社ビル	同上
記号処理	3月23日(水)	13:30~17:00	津田塾大	同上
自然言語処理	3月25日(金)	10:00~16:30	京大	同上

### 昭和 63 年度研究会登録と論文抄録について

昭和 63 年度の研究会は、現在の 18 研究会に新設の「コンピュータと教育」および「アルゴリズム」の 2 研究会を加え、**20 研究会**でスタートします。

研究会の登録の詳細は 3 月号の本欄でお知らせいたします。

また、本年 4 月から研究会およびシンポジウムで発表される論文の和文抄録を、学術情報センター(所長 猪瀬 博)の「学会発表データベース(第一系)」に提供することになりました。

著者の方々には、ご負担をおかけいたしますが、貴重な論文を広く知らせることになりますので、是非とも「登録原稿データシート」の作成にご協力いただくようお願いいたします。

なお、英文抄録には、昭和 61 年度から JICST に登録させていただいております。

#### ◆ 第 17 回 文書処理とヒューマンインタフェース研究会 (発表件数: 4 件)

(主査: 木村 泉, 幹事: 角田博保, 黒須正明, 首藤正道)

日 時 昭和 63 年 3 月 3 日 (木) 午後 1 時 10 分～5 時半

- 会 場** NTT ヒューマンインタフェース研究所  
〔横須賀市武 1-2356, 京浜急行：野比下車, 通信研究所行きバス：終点で下車。東京方面からは, 品川駅 11 時 46 分発に乗車すれば, 午後 1 時頃に研究所到着。Tel. 0468 (59) 2933〕
- 議 題** **13: 10~13: 55**  
(1) **見学：NTT ヒューマンインタフェース研究所**  
〔各種日本語入力方式の研究（仮名漢字変換, 文字認識, 音声入力）〕
- 14: 00~17: 30**  
(2) **ドキュメント・アーキテクチャの標準化動向** 曾根原登 (NTT 通研)  
〔概要〕 ドキュメント・アーキテクチャの標準化動向, 応用, 構成技術, 通信機能等について概観する。  
(3) **文書推敲処理を利用した文書作成支援環境の実現** 木谷 強 (NTT 通研)  
〔概要〕 高度な文書作成支援環境の実現を狙いとして作成した文書推敲処理について, その有効性と評価結果を述べる。  
(4) **ユーザインタフェース設計ツール—画面設計支援—** 福岡久雄, 宮崎一哉, 辻順一郎, 坂下善彦 (三菱電機)  
〔概要〕 ウィンドウやメニューの定義を AP 本体から分離し, その表示形態の確認, 修正を容易に行うツールについて述べる。  
(5) **データベース検索手続きの理解：既存知識の影響** 野島久雄 (NTT 通研)  
〔概要〕 データベース検索の手続きの理解が, コンピュータとエキスパティーズとどのように関わるかを検索する。

◆ **第 57 回 知識工学と人工知能研究会** (発表件数：8 件)  
(主査：堂下修司, 幹事：西田豊明, 米澤明憲)

**日 時** 昭和 63 年 3 月 10 日 (木) 午前 9 時半~午後 4 時 55 分  
**会 場** 機械振興会館 地下 3 階 研修 2 号室  
〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄：日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, JR：浜松町下車, バス：渋谷—東京タワー線東京タワー, 渋谷—東京駅八重洲線虎ノ門 5 丁目下車。Tel. 03 (434) 8211〕

- 議 題** **9: 30~11: 45 (3 件)**  
(1) **一般論理型モデル表現手法 GELOMORE について** 吉川成人, 五百川賢司, 中村浩一, 安永恭子 (イーディシー)  
〔概要〕 対象モデルとユーザモデルを表現し機能させる試みとして検討中の表記手法の考え方と適用を報告する。  
(2) **自由対話系の話題管理方式** 高野 啓, 佐々木泰, 高田正之, 小谷善行, 西村恕彦 (農工大・工)  
〔概要〕 話題の分野及び対話の目的に依存しない自由対話系を製作した。その話題の管理, 選択方式について述べる。  
(3) **対話システム IDS における対話モデルと協調的応答生成** 近藤省造, 今村 誠 (三菱電機)

〔概要〕 ユーザとデータベースシステムとの仲介役を果たす対話システム IDS において提案した対話モデル, 協調的応答の生成方式, 今後の課題について述べる.

**13 : 00~15 : 15 (3件)**

(4) 機械系の故障診断システムにおける深い推論と知識獲得

柳 吉洙, 志村正道 (東工大・工)

〔概要〕 構造, 動作, 因果モデルを用いセンサから故障の原因を導き, 診断知識を抽出する方法について述べる.

(5) ストリングパターンのユニフィケーション

松山隆司, 張 汝濤, 伊藤貴康 (東北大・工)

〔概要〕 任意長の文字列と照合可能な変数を含むストリングパターンのユニフィケーションアルゴリズムを示し, その完全性を証明する.

(6) Blackboard in Prolog 赤間 清 (北大・文)

〔概要〕 Prolog 処理系に各述語変数からアクセスできる黒板 (Blackboard) を導入し, それを有効に利用する方法について述べる.

**15 : 25~16 : 55 (2件)**

(7) 集合束縛変数による推論の高速化 赤間 清 (北大・文)

〔概要〕 継承階層 Prolog PAL の集合束縛変数が意味処理するための推論を高速化できることを例を用いて示す.

(8) 因果解析を用いたモデル推論

西田豊明, 竹下 敦, 堂下修司 (京大・工)

〔概要〕 異なる詳細度を持つ代替モデルを束状に編成したモデル束を用いたモデル推論が因果解析によって効率化されることを示す.

◆ **第 62 回 計算機アーキテクチャ研究会**

(発表件数 : 4 件)

(主査 : 田中英彦, 幹事 : 喜連川優, 長谷川隆三)

**日 時** 昭和 63 年 3 月 10 日 (木) 午後 1 時半~4 時半

**会 場** 機械振興会館 地下 3 階 2 号室 (所在地は前記参照)

**議 題** (1) 汎用目的マルチプロセッサ・システム OSCAR 上でのスパース線形方程式求解の並列処理 笠原博徳, 中山晴之, 高根栄二 (早大・理工)

橋本 親 (富士ファコム制御)

〔概要〕 OSCAR 上でのスパース線形方程式求解の並列処理手法, 及びその性能評価について報告する.

(2) A New Fast Parallel Computation Model for Benes Network-With Unrestricted Parallelism

Issam A. Hamid, 白鳥則郎, 野口正一 (東北大・通研)

〔概要〕 本論文では, ベンズネットワークの制御のための高速並列計算モデルについて検討する.

(3) Lower Bound Derivation for Parallel Permutation Algorithm for Benes Network-With Restricted Parallelism

Issam A. Hamid, 白鳥則郎, 野口正一 (東北大・通研)

〔概要〕 ベンズネットワークにおいて, 並列パーミュテーションアルゴリズムの

下限値を求めるための並列性の制限を議論する。

(4) 並列処理システム—晴—の要素プロセッサ構成

山名早人, 丸島敏一, 草野義博, 村岡洋一 (早大・理工)

〔概要〕 —晴—の要素プロセッサの内部構成及びその動作について述べ, 簡単な評価を行う。

◆ 第 24 回 数値解析研究会

(発表件数: 3 件)

(主査: 森 正武, 幹事: 唐木幸比古, 野寺 隆, 福井義成)

日 時 昭和 63 年 3 月 11 日 (金) 午後 1 時半～5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 1 号室 (所在地は前記参照)

議 題 (1) 汎用対話型高水準言語 “S” の紹介 柴田里程, 渋谷政昭 (慶大・理工)

〔概要〕 UNIX 環境を全面的に活用したベル研開発の言語 S. 配列演算が基本の演算式型言語で, 高水準の作図関数をもつ。

(2) IMSL の新バージョンについて

福井義成, 中島美也子, 大井理絵 (東芝)

〔概要〕 IMSL (数値・統計計算ライブラリ) が大幅に変更された. その変更点について紹介する。

(3) Numerical Recipes と Example Book について 野寺 隆 (慶大・理工)

〔概要〕 Turbo Pascal 上で使用可能で, 格安な数値計算パッケージについて述べる。

◆ 第 64 回 データベース・システム研究会

(発表件数: 9 件)

(主査: 上林弥彦, 幹事: 石井義興, 大里博志, 鈴木健司)

日 時 昭和 63 年 3 月 15 日 (火) 午前 9 時半～午後 5 時

会 場 慶應義塾大学 藤山記念館 中 2 階 大会議室

〔横浜市港北区日吉 4-1-1, 東横線:日吉下車, 慶應義塾大学キャンパス内.  
Tel. 044 (63) 1111〕

議 題 9: 30～12: 20 (4 件)

(1) HI-GIS におけるデータベース・アシスタントの開発

呉 旭, 伊東靖英, 田中 稔, 市川忠男 (広大・工)

〔概要〕 概念間の意味関係と不完全な意味制約を含む検索要求を解析する能力をもつデータベース・アシスタントについて報告する。

(2) 建築 CAD データベースのスキーマ定義について

石川 洋, 宇田川佳久, 市川照久, 伊藤光一, 西川正文 (三菱電機)

〔概要〕 建築 CAD DB のモデルを示し, ER モデルと対応づける. またスキーマ定義環境に要求される機能を考察する。

(3) テキスト情報の知的検索における諸問題

秋山幸司, 杉山健司 (富士通研)

〔概要〕 テキストベース知的検索システム IRIS の機能構成を, DB 自然言語 I/F と対比して解説し問題点を述べる。

(4) 非正規関係の問合わせ変換について

鶴岡邦敏 (日電)

〔概要〕 非正規関係に対する拡張問合わせを正規関係に対する問合わせに変換する手法を提案し, 問合わせの同値性を示す。

**13:30~17:00 (5件)**

- (5) 非正規形演繹データベースの問合わせ評価法

木山 稔 (NTT 通研), 横田一正 (ICOT)

〔概要〕 非正規関係を対象とした演繹データベースの問合わせ評価法及び再帰問合わせの最適化手法について述べる。

- (6) 分散データベースの質問処理最適化に関する考察

李 紅, 佐藤 洋 (電通大・情報工学)

〔概要〕 分散データベース質問処理の AHY (Apers al 1983) の最適化アルゴリズムが最適とならない事情を3種の観点から考察する。

- (7) 形式化された自然言語によるリレーショナルデータベースの問合わせについて

河村一樹 (日本電子専門学校・情報学)

〔概要〕 RDB のユーザインタフェースとして, 形式化された自然言語による問合わせを実現するシステムを提示する。

- (8) 並行処理制御における二次記憶スケジューラの最適化

掛下哲郎, 上林弥彦 (九大・工)

〔概要〕 必要主記憶容量と二次記憶 IO 回数の線形結合によるコスト関数を最小にする直列可能スケジューラについて考察する。

- (9) Generating Nested SQL Queries for Documentation

Mohamed EI-Sharkawi, 上林弥彦 (九大・工)

〔概要〕 SQL で書かれたデータベース質問をドキュメンテーションに適した SQL 質問に変換する手続きを与える。

**◆ 第53回 コンピュータビジョン研究会**

(発表件数: 7件)

(主査: 白井良明, 幹事: 松山隆司, 吉田真澄)

日時 昭和63年3月15日(火) 午前10時~午後5時

会場 平凡社ビル 5階 大教室

〔東京都千代田区三番町 5-19, 地下鉄(半蔵門線): 半蔵門下車 (徒歩5分), JR: 市ヶ谷下車 (徒歩10分), 英国大使館裏または日本 IBM の前. Tel. 03 (239) 8220〕

**10:00~12:00 (3件)**

- 議題 (1) 弾性体モデルを用いた図形のマッチング法 志沢雅彦 (NTT 通研)  
〔概要〕 図形を有限要素近似された弾性体とみなし, 歪エネルギー最小のマッチングをシンプレックス法により求める。
- (2) 自律走行のためのインクリメンタルな環境モデルの構築  
佐藤 淳 (アイシン精機), 築山俊史 (電総研)  
〔概要〕 単眼視による TV 画像から環境の3次元的な構造を推定し, その環境の3次元モデルを作製する方法を提案する。
- (3) 視差・フローの計算と群化過程 佐藤嘉伸, 梅田三千雄 (ATR)  
〔概要〕 知覚的群化過程と視差場・速度場の計算過程との関連を述べ, それらの相互作用に基づくアルゴリズムを示す。

**13:00~17:00 (4件)**

- (4) 稜対応・角対応に基づく並列多面体認識法

田中弘美, 辻 三郎 (阪大・基礎工)

〔概要〕 複数の物体が存在するシーンにおいて、既知多面体群を同時に認識する二つの並列処理について述べる。

(5) 直交性仮説による多面体の3次元復元

前原一夫, 川島孝夫, 金谷健一 (群大・工)

〔概要〕 多面体の単一画像から直交しているらしい辺を探索し、測定誤差を押える最適化をほどこして形状を一意的に復元する。

(6) 平行性仮説による多面体の3次元復元

田中俊江, 川島孝夫, 金谷健一 (群大・工)

〔概要〕 多面体の単一画像から平行と思われる辺を探索し、測定誤差を押える最適化をほどこして形状を一意的に復元する。

(7) 輪郭線情報と明度情報を用いた筒状物体の形状決定

浅田 稔 (阪大・工)

〔概要〕 照明条件や面の反射係数の知識を必要としない筒状物体の3次元形状復元の手法について述べる。

◆ 第47回 記号処理研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 和田英一, 幹事: 井田昌之, 小川貴英, 元吉文男)

日時 昭和63年3月23日(水) 午後1時半~5時

会場 津田塾大学 本館 第一会議室

〔小平市津田町 2-1-1, 西武国分寺線: 鷹の台下車, 玉川上水沿いに徒歩8分, 中央線: 国分寺(北口)下車, 国分寺車庫から, 西武バス: 小川上宿美大前行, 津田塾大学前下車. Tel. 0423 (41) 2441 ex. 352〕

議題 (1) 多変数多項式 GCD に対する4つの新しい算法

佐々木建昭, 鈴木正幸 (理研)

〔概要〕 部分終結式理論とグレブナ基底論に基づく4つの新しい GCD 算出法を与える。このうち二つは非常に効率がよい。

(2) PROLOG コンパイラにおける非決定性処理の最適化方式

松本一夫, 碓崎賢一, 上原邦昭, 豊田順一 (阪大・産研)

〔概要〕 節単位から述語単位に拡張した最適化方式について述べる。本方式では、述語単位で変数分類とプログラム変換を行い、非決定性処理を最適化している。

(3) リダクションチップの機能レベルのシミュレーション

児玉祐悦, 和田英一 (東大・工)

〔概要〕 グラフコピー方式に基づく SKIBC コンビネータエバリュエータのためのアーキテクチャに関する考察を述べる。

(4) 印付けの対象領域を動的に変更するごみ集め

小川貴英 (津田塾大・数学)

〔概要〕 ごみ集めによる中断を短くするために、印付けの対象領域を限定する算法を示し、その動作を解析する。

◆ 第65回 自然言語処理研究会

(発表件数: 8件)

(主査: 吉田 将, 幹事: 田中穂積, 野村浩郷, 日高 達)

- 日時** 昭和 63 年 3 月 25 日 (金) 午前 10 時～午後 4 時 30 分
- 会場** 京都大学工学部 電気系教室 電気総合館 3 F 中講義室  
〔京都市左京区吉田本町, 市バス: 17, 特 17, 203 系 農学部前下車徒歩 2 分,  
または百万遍下車徒歩 5 分. Tel. 075 (751) 2111 ex. 5347〕
- 議題** **10:00～12:00 (3件)**
- (1) 係り関係の定量化による単語分類 仲尾由雄, 靱山陽子 (富士通研)  
〔概要〕 自立語と自立語の係り受け関係を双対尺度法により統計的に定量化し,  
単語の意味的クラスタリングを試行する.
- (2) 自然言語の知識獲得—朝日新聞記事データの分析—  
田中康仁 (姫路短大)  
〔概要〕 朝日新聞記事データの分析による, 語と語の関係, 特に“を”を中心と  
した関係抽出について述べる.
- (3) 複数のアプリケーションと応答可能な自然言語インタフェース・システム  
渡辺日出雄, 丸山 宏 (日本 IBM)  
〔概要〕 ユーザの入力に意味的に一番近いアプリケーションを提示する自然言語  
インタフェースについて述べる.
- 13:00～16:30 (5件)**
- (4) 分かち・構文・意味の並行処理をおこなう日本語パーサ  
寺下陽一, 二口邦夫 (金沢工大・計算機センター)  
〔概要〕 分かち, 構文, 意味の並行チェックによりサーチ空間を縮小するような  
トップダウン型パーサについて述べる.
- (5) 自然語によるプログラム仕様の, 抽象的データタイプを用いた構文及び意  
味解析  
並河英二, 松村 亨, 関 浩之, 藤井 護, 嵩 忠雄 (阪大・基礎工)  
〔概要〕 自然語による仕様の構文及び意味を, 抽象的データタイプの概念を用い  
た枠組により解析する手法について述べる.
- (6) 文脈を考慮したテキスト生成システム  
田淵 篤, 辻井潤一, 長尾 真 (京大・工)  
〔概要〕 筆者の目標構造に基づき, 文間の接続, 様相, 省略や照応表現を選択し  
自然なテキストを生成するシステム.
- (7) 日本語を対象とした文評価システムに関する研究  
箱守 聡, 大西 昇, 杉江 昇 (名大・工)  
〔概要〕 簡潔・平明な文章を得るため, 与えられた日本語文に対して評価・修正  
を行うシステムについて報告する.
- (8) ターミノロジと知識工学の国際会議について 田中康仁 (姫路短大)  
〔概要〕 西ドイツのトリア市で行われたターミノロジと知識工学の国際会議の内  
容を報告する.

#### ◆ プログラミング言語研究会

63年度最初の研究会を下記のとおり開催いたします。例年, この時期にはプログラミング言語の動向を特集テーマとしてきましたが, 今回は, 特に, **日本語プログラミングの特集**といたします。発表ご希望の方は, **3月4日(金)**までに, 発表申込用紙に発表題目と50字以内の概要等を記入して, 学会

事務局研究会担当までお申し込みください。

日 時 昭和63年5月13日(金)

会 場 早稲田大学理工学部 51号館2階 第2・第3会議室

テ ー マ 日本語プログラミング, 日本語言語, 文字コードの拡張, その他, プログラミング言語の  
動向等.

## アルゴリズム研究会発足のお知らせ

アルゴリズムの研究は古くはユークリッドの互除法など数学と共に始まったといつてよく、計算機科学の分野で最も古い歴史がある。アルゴリズムは問題解決の手続きを与えるもので、計算機ソフトウェアばかりでなくハードウェアにとって基本となる重要な要素である。このようにアルゴリズムは計算機科学研究の一つの中心的テーマであり、この分野には多くの研究課題が残されている。多数の会員の参加と積極的な研究会活動を期待するものである。

### ◆目 標

1. アルゴリズムの課題を明らかにし、効率よいアルゴリズムの開発や解析、理論の確立に寄与すること。
2. アルゴリズムに関する情報の交換や研究交流を行うこと。

### ◆主要な研究分野

1. グラフ、ネットワーク、VLSI などに関する組み合わせアルゴリズム
2. 計算幾何学と計算代数学
3. 暗号、符号などの数論的アルゴリズム
4. 確率アルゴリズム、近似アルゴリズム
5. 並列アルゴリズム、分散アルゴリズム、ハードウェアアルゴリズム
6. データ構造
7. 計算複雑さの理論

### 提 案 者(五十音順)

五十嵐善英(群馬大)	稲垣 康善(名 大)	茨木 俊秀(京 大)
今宮 淳美(山梨大)	伊理 正夫(東 大)	岩垂 好裕(日電)
大附 辰夫(早 大)	梶谷 洋司(東工大)	菅 忠義(学習院)
上林 弥彦(九 大)	小泉 寿男(三菱電機)	小林孝次郎(東工大)
小山 謙二(N T T)	斎藤 信男(慶 大)	斎藤 伸自(東北大)
渋谷 政昭(慶 大)	鈴木 則久(日本IBM)	谷口 健一(阪 大)
富田 悦次(電通大)	中森真理雄(農工大)	西関 隆夫(東北大)
野口 正一(東北大)	野崎 昭弘(I C U)	野下 浩平(中央大)
浜田 穂積(日 立)	一松 信(京 大)	二木 厚吉(電総研)
横森 貴(富士通)		



## 昭和 63 年度会費および論文誌・欧文誌購読費の納入について

前号本欄でお知らせしたとおり、昭和 63 年度会費および購読費の納付書（郵便振替用紙）を 1 月下旬に発送いたしましたので、納入かたよろしくお願い申し上げます。（会費、購読費は 62 年度と同じで据置き。）

会 費	正会員 7,200 円	学生会員 3,000 円（大学院修士課程まで）
購読費	論文誌 4,500 円	欧 文 誌 3,000 円

申すまでもありませんが、会費は前納を建て前としておりますので、3 月末までに率先してご納入いただきたく存じます。

### 自動振替えのお願い

このたびの 63 年度会費ご請求の際に個々にお知らせしたとおり、正会員（一括扱いの会員は除く）の会費・購読費は、ご自分の取引先銀行等預金口座から自動振替納入できるようになりました。会費納付書に同封の預金口座振替依頼書により、多数の会員がお申込みくださるようお願いいたします。

なお、1 月中に申込まれた会員の会費・購読費は、銀行等預金口座から 3 月 28 日に自動振替えいたしますが、2 月以降に申込まれた会員は次回振替日（7 月 27 日予定）となりますので、ご了承ください。郵便振替等によりご自分で納入されると二重払いになりますので、ご留意ください。

## 会員名簿（昭和 62 年版）の頒布について

昭和 62 年 9 月現在の会員（会員番号では 8715251 まで）を収録した会員名簿（B 5 判，807 ページ）が発行されました。多少残部がありますので、希望者は下記によりお申込みください。

価 格	会員特価 6,200 円（定価 13,000 円）（送料込）
申込方法	所要事項および送金方法を記入（様式適宜）し、申込みと同時にご送金ください。 郵便振替口座番号、取扱銀行、送金先等は 2 月号 159 ページにあります。

## 論文誌，欧文誌の購読のおすすめ

「論文誌」（月刊）および「欧文誌」（季刊）は有料頒布です。まだ購読されていない会員は 63 年度から購読されることをお勧めします。新規購読希望の方はその旨会費納入の振替用紙通信欄にご記入くださるか、本欄添付の購読申込書によりお申込みください。

昭和 63 年度役員選挙について

本会定款第 20 条にもとづき、来る 5 月 28 日開催の第 29 回通常総会をもって本会役員の数  
数が退任されます。したがって昭和 63 年度の役員選挙は、2 月中旬に別途送付される投票  
用紙（往復はがき）により行われます。正会員各位は下記の要領により、同投票用紙にてもれ  
なく投票をお願いいたします。

投票用紙記載の候補者は、有権者の参考に供するために、本会理事会が推薦したものです。  
これらの候補者の中から選定される場合は、下記の候補者名簿ご参照のうえ、「選定欄」に○  
印を付けてください。ただし、これらの候補者以外の会員（正会員に限る）を選定される場合  
は、それぞれの区分の空欄に氏名、所属をご記入ください。

記

1. 別送の投票用紙（返信はがき）の選定欄に○印をおつけください。
2. 副会長は 1 名の単記、理事は、業務担当では〔教育〕、〔研究〕、〔製造・販売(A)〕、〔製造・  
販売(B)〕、〔利用〕の各分野別に 1 名の単記、編集担当では〔教育／研究〕、〔分野不問〕の  
各分野別に 2 名以内の連記、監事は 1 名の単記とし、これをこえた場合には無効とします。
3. 改選定数は、副会長 1 名、理事 9 名、監事 1 名です。
4. 投票の締切は昭和 63 年 3 月 5 日（土）の郵便消印があるものまで有効といたします。
5. 投票用紙（はがき）は料金受取人払ですから、切手を貼付する必要はありません。
6. 投票用紙記載の候補者は 50 音順です。
7. 1 月 14 日現在で本年度会費未納者には投票用紙は送付いたしません。

昭和 63 年度役員改選候補者名簿

(昭和 63 年 1 月末現在)

役職名	候補者氏名	出身学校 卒業年次(昭和)	勤務先および役職名
副会長	後藤 英一	東大 28	東京大学理学部教授
	野口 正一	東北大 29	東北大学電気通信研究所教授
理	〔教育〕 池田 克夫 大須賀 節雄 志村 正道	京大 35	筑波大学電子・情報工学系教授
		東大 32	東京大学工学部境界領域研究施設教授
		東大 35	東京工業大学工学部教授
〔研究〕	川合 慧 棟上 昭男 三木 彬生	東大 42	東京大学理学部助教授
		東大 35	電子技術総合研究所ソフトウェア部長
		東大 39	鉄道総合技術研究所情報システム研究室主任研究員
事 業 担 当	〔製販売 造(A)〕 遠藤 誠 松本 吉弘	東大 37	日立製作所神奈川工場副工場長
		東大 29	東芝重電技術研究所技監・理事
〔製販売 造(B)〕	藏田 昭 矢島 敬二 柳井 朗人	東大 24	日本トラフィックコンピューターセンター 代表取締役社長
		都立大 29	日本科学技術研修所顧問
		阪大 24	AT&T ジャパン副総支配人
〔利 用〕	板倉 征男 河合 基 服部 幸英	東工大 39	NTT データ通信事業本部営業統括本部営業部長
		東北大 32	中電コンピューターサービス取締役電力システム 第一部長
		東大 24	日本鋼管機械事業部参与

役職名	候補者氏名	出身学校 卒業年次(昭和)	勤務先および役職名
理事 (編集担当)	(教育/研究) 白井良明 田中穂積 堂下修司 米澤明憲	名大 39 東工大 39 京大 33 東大 45	電子技術総合研究所制御部長 東京工業大学工学部教授 京都大学工学部教授 東京工業大学理学部助教授
	(分野不問) 古川康一 村井真一 山口宏二 山田昭彦	東大 40 京大 38 京大 41 阪大 34	新世代コンピュータ技術開発機構研究所 研究担当次長 三菱電機カスタム LSI 設計技術開発センター CAD 技術開発第一部長 富士通電算機開発部長 日本電気情報処理事業グループ技師長
監事	澁谷多喜夫 渡部 和	早大 33 京大 28	富士通 NTT 営業本部データ統括営業部長 日本電気支配人

## 〔参 考〕

## 昭和 63 年度留任役員名簿

役職名	氏 名	勤 務 先
会 長	大 野 豊	京 大
副 会 長	石 井 善 昭	日 電
理 事	牛 島 和 夫	九 大
理 事	黒 川 恒 雄	日 銀
理 事	小 泉 寿 男	三 菱
理 事	鈴 木 則 久	日 本 I B M
理 事	田 中 英 彦	東 大
理 事	堂 免 信 義	日 立
理 事	橋 本 昭 洋	日 N T T 研
理 事	三 吉 健 滋	構 造 研
監 事	山 田 尚 勇	東 大

## 退任役員名簿

役職名	氏 名	勤 務 先
副 会 長	浦 昭 二	慶 大
理 事	石 田 晴 久	東 大
理 事	植 村 俊 亮	電 総 研
理 事	片 山 卓 也	東 工 大
理 事	高 根 宏 士	三 菱 東 部 C S
理 事	立 花 佑 介	N T T
理 事	名 内 泰 藏	日 立
理 事	廣 瀬 健 夫	早 大
理 事	福 井 隆 夫	大 同 信 号
理 事	藤 枝 純 教	C S K
監 事	池 野 信 一	電 通 大

## 第 37 回 全国大会講演発表用原稿用紙等請求書

1. 発表を希望する者は氏名、住所、請求部数を記入して申込むこと。返信用宛名用紙にも同様に記入のこと。
2. 原稿用紙等の送料として1組希望の場合は郵便切手170円、2組以上の場合は1組増すごとに70円添付のこと。
3. 申込みは本用紙のコピーを郵送のこと。
4. 本号掲載の実施要領をよく読んで請求してください。
5. 返信用封筒はいりません。



氏 名 \_\_\_\_\_

住 所 \_\_\_\_\_

請求部数 1 ページ発表…… \_\_\_\_\_ 組請求します。

2 ページ発表…… \_\_\_\_\_ 組請求します。

(切り取らずにお申込みください)

	
	(氏名) (住所)
情報処理学会第37回全国大会 原稿用紙在中	
1 ページ発表 組	
2 ページ発表 組	
	殿

## 情報処理学会 第 37 回 全国大会実施要領

情報処理学会第 37 回全国大会（昭和 63 年後期）を次の要領で開催します。

講演発表希望者は、実施要領を熟読のうえ、日程に従って所定の手続きを進めてください。

今回から論文締切後、ただちにプログラム編成委員会を開催し、プログラム編成を行うことになりました。

このため、講演申込、原稿用紙の請求、論文提出、講演日時のお知らせなどの方法が変更になっております。

論文締切日の厳守を徹底しますので、論文等の提出は必ず期日までにお出しく下さい。一日でも遅れると発表できなくなりますので、特にご注意願います。

**開催期日** 昭和 63 年 9 月 12 日(月)、13 日(火)、14 日(水)

**会 場** 立命館大学（京都市北区等持院北町 56-1）

- 日程一覧**
1. 講演発表用原稿用紙等の請求  
学会誌 2 月号 (Vol. 29, No. 2) 掲載の請求書に記入して、応募規程 IV. 1 の申込方法により請求してください。
  2. 原稿用紙等の送付  
請求書を 3 月 15 日(火)、3 月 31 日(木)、4 月 25 日(月) に締切、それぞれ締切った分について事務局から、「講演発表申込書」、「論文原稿用紙」等をお送りします。
  3. 講演論文等の提出  
講演論文（本原稿）、講演論文コピー 1 部（B 5 判）、「講演発表申込書」等を一括して 6 月 15 日(水) までに、学会事務局に必着するようご提出ください。応募規程 IV. 2 参照。締切に遅れますと発表できなくなりますので、特にご注意ください。
  4. プログラム編成委員会の開催  
講演論文等を締切次第、大会プログラムの編成および座長候補の推薦をおこないます。この後、ただちに事務局から座長に依頼をいたします。
  5. 講演発表者には講演日時を 7 月末日までに到着するようご通知いたします。
  6. 大会プログラムを学会誌 8 月号 (Vol. 29, No. 8) に掲載いたします。発表者は特にご注意ください。
  7. 論文集予約申込書を学会誌 6 月号 (Vol. 29, No. 6) に掲載します。お早目にご予約ください。

### 応募規程

- I. 講演内容
  1. 全国大会にふさわしい内容を備えたものとします。
  2. 発表は日本語または英語とします。
- II. 応募資格
  1. 登壇発表者は申込時に情報処理学会個人会員であること。
  2. 共同発表者は当学会個人会員であることが望ましい。
  3. 昭和 62 年度会費未納の会員は発表できません。
  4. 電気、電子情報通信、照明、テレビジョン各学会会員は当学会会員と同様

の取り扱いとします。ただし、表彰対象者になりません。

III. 講演論文該当分野

現在、検討中です。原稿用紙を送付する時に同封いたします。

IV. 申込方法

1. 発表を計画された時

学会誌2月号みどりのページ掲載の「全国大会講演発表用原稿用紙等請求書」に必要事項を記入して申込むこと。

2. 講演論文を提出される時

講演論文(本原稿)およびコピー、講演発表申込書等を添えて申込むこと。  
なお、連続発表を希望される場合は、別紙にて標題、講演者名および発表順番を明記し、申込書と原稿をまとめて送付すること。

V. 申込件数

1. 登壇発表は原則として1人1件とします。

2. 2件以上になる場合は、1件ごとに発表料が必要です。

VI. 申込料金

1. 1件につき、1ページ論文は6,000円、2ページ論文は7,000円です。

2. 講演申込書、論文等を提出する際、同時に納入してください。なお、納入後、発表申込を取消されても返金できませんのでご注意ください。

VII. 論文提出

1. 所定の原稿用紙を申込締切順に送付しますので、6月15日(水)までに必ず着るようコピー等と一緒に提出ください。

2. 論文は日本語または英語とします。

3. 論文抄録を「学会発表データベース(第一系)、学術情報センター」に入力することになりました。所定の用紙および記入要領に従って記入のうえ論文と一緒に提出してください。なお、著作権は学会と共有です。

4. ワードプロ、タイプで作成した原稿はプリントした原文をお使いください。

5. 論文提出後の訂正は原則としてできません。

ただし、やむを得ない事情で訂正をしたい場合は、7月15日(金)一日(午後5時まで)に限り、学会事務局2階にて訂正を受付けます。なお、郵送、電話等による訂正はできませんのでご注意ください。

VIII. 論文の採否

講演論文の採否は大会運営委員会(プログラム編成委員会)が決定する。採択しないものは、例えば次のような場合である。

1. 論文の内容が著しく不十分なもの。

2. 内容が商業宣伝に偏したもの(極端な商品名の引用には注意する)。

3. 同一または類似の発表がなされており、かつ前進がないもの。

4. 応募規程に違反するもの。

5. 提出期限に遅れたもの。(次回への応募をお薦めします)

IX. 論文集の配付

発表者には大会当日会場受付けにて、論文集全冊をお渡しします。

X. 発表論文の別刷はいたしません。

## XI. 発表当日の講演者心得

1. 講演の始まる前に、必ず自分の発表会場の講演者受付で、出席の確認を受ける。
2. 必ず前の講演者の講演時間中には、座長席の前に設けられた講演者控で待機する。
3. 一般講演の時間は、質疑を含めて15分間を原則とします（都合により13分間のセッションもあります）。講演中でも時間切れで打ち切ります。
4. 講演終了予定時刻の5分前および3分前に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代理(読)は認めません。

## XII. 申込先及び問合せ先

(社)情報処理学会 全国大会係

〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル Tel. 03 (505) 0505

## 本会協賛等の行事案内\*

セミナー「CAD/CAM 標準化の動向と将来展望」

昭和63年2月17日(水)

東京・日経小ホール

電気学会創立100周年記念展示会

昭和63年3月31日(木)～4月3日(日)

東京・科学技術館

第5回 センシングフォーラム

昭和63年4月7日(木)～8日(金)

神田学士会館

システム監査アジア・太平洋会議

昭和63年8月8日(月)～10日(水)

ホテル・オークラ

教育工学関連学協会連合第2回全国大会

昭和63年10月8日(土)～10日(月)

東京工業大学

マシン・インテリジェンスとビジョンの産業応用に関する国際会議

昭和64年4月10日(月)～12日(水)

東京大学生産技術研究所

第3回 産業における画像センシングシンポジウム

昭和63年6月9日(木)～10日(金)

品川・コクヨホール

第4回 ファジィシステムシンポジウム

昭和63年5月30日(月)～31日(火)

明治大学百周年大学会館

Computer Graphics Osaka '88

昭和63年6月1日(水)～4日(土)

大阪国際交流センター

\*詳細は本号会議案内欄参照

## 「計算機システムのヒューマンインタフェース —モデル・ 評価・展望—」シンポジウム開催について

計算機システムが高度化し、利用者層が広がったことによって、計算機システムのヒューマンインタフェースに多大の関心が向けられるようになりました。ヒューマンインタフェースは、いまや製品の成功不成功を左右する要素の一つとなっています。またひいては、よいヒューマンインタフェースとわるいヒューマンインタフェースを見わけるにはどうしたらよいかという問題、いい換えればヒューマンインタフェースの評価技法の問題がクローズアップされることになりました。さらにそのような評価技法の基礎となるべきモデルを明らかにすることの重要性が認識されはじめています。

本シンポジウムは、これらの問題を討論し、将来に向けての見通しを得ることを目的としています。奮ってご参加ください。

日 時 昭和 63 年 4 月 13 日(水)~14 日(木) 9:20~17:00  
場 所 機械振興会館ホール (地下 2 階)  
参加費 正会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生会員 1,500 円  
(論文集のみ 3,500 円, 送料 400 円)  
申込締切 昭和 63 年 3 月 28 日(月) (定員 150 名に達し次第, 締め切らせていただきます)

### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

#### 第 1 日 (4 月 13 日(水))

開会の辞 (9:20~9:30)

#### セッション 1 チュートリアル「ユーザインタフェースの基礎理論」(9:30~12:30)

- ・インタフェースと認知工学 佐伯 胖 (東大)
- ・インタフェースの認知心理学 —マニュアル, メタファー, アイコンをめぐって 海保 博之 (筑波大)

—昼食 (12:30~13:30)—

#### セッション 2 「ヒューマンインタフェースの評価方式:

キーストロークレベルモデル (KLM) の光と影」(13:30~17:00)

- ・KLM について—概説と問題提起— (13:30~14:10) 木村 泉 (東工大)
  - ・KLM のプログラム開発環境への適用例 (14:10~14:50) 大野 邦夫 (NTT)
  - ・エディタ評価法の検討 (14:50~15:30) 中山 剛 (富山大)
- 休憩 (15:30~15:40)—
- ・インタラクションの図化・分析・検査ツールの試作 (15:40~16:20) 守屋 慎次 (電機大)
  - ・KLM を用いたコンピュータシステム利用者の挙動分析 (仮題) (16:20~17:00) 森川 治 (製科研)

#### 第 2 日 (4 月 14 日(木))

#### セッション 3 「5 年後のユーザインタフェース」(9:30~12:10)

- ・5 年後のヒューマンインタフェースについて (9:30~10:10) 幡鎌 博 (富士通)
- ・5 年後のインタフェースの主流はやはりキーボードであり, キーボード教育が今後の最重要課題である (10:10~10:50) 大岩 元 (豊橋技科大)
- ・5 年後の日本語プログラミング環境 (10:50~11:30) 高橋 延匡 (農工大)
- ・WP, DTP, ATP の効率 (11:30~12:10) 村山 登 (リコー)

—昼食 (12:10~13:10)—



## セッション4 「これからの日本語入力」 (13:10~17:00)

- ・かな漢字変換能力の評価尺度 (13:10~13:35) 荻野 綱男 (筑波大)
- ・音声による日本語入力方式の評価法 (13:35~14:00) 藪内 繁 (日立)
- ・左右対称形キーボードの試作と打鍵操作特性の評価 (14:00~14:25) 白鳥 嘉勇 (NTT)
- 休憩 (14:25~14:35)—
- ・題未定 (14:35~15:00) 龍岡 博 (リップス)
- ・ブラインドタッチ3時間練習法の原理と効果 (15:00~15:30) 増田 忠 (ギャルド)
- ・A comparative Study of Input Methods for Japanese Text Typing. (15:30~15:55)
- 山田 尚勇, 岡留 剛 (東大)
- ・総合討論 (15:55~17:00)

## 「計算機システムのヒューマンインタフェース」シンポジウム

## 参加申込書

昭和63年 月 日

申込者 氏名 \_\_\_\_\_ 会員 No. \_\_\_\_\_

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 \_\_\_\_\_

Tel. \_\_\_\_\_

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員 10,000 円 非会員 15,000 円 学生会員 1,500 円

○論文集のみ (3,500 円, 送料 400 円) 冊

○送金方法

\_\_\_\_\_ 円を \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日送金します (金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)。

a. 現金書留 (送金先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会 シンポジウム係)

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945 富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 三井銀行本店 4298739

住友銀行東京公務部 10899 三和銀行虎ノ門東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要の方はお申出ください。

(No. \_\_\_\_\_)

請求書 \_\_\_\_\_ 通, 見積書 \_\_\_\_\_ 通, 納品書 \_\_\_\_\_ 通  
請求先 \_\_\_\_\_

注) 申込書は1枚1人としてください (この用紙のコピーで可)。

## 学術奨励賞候補の推薦について

全国大会で優秀な論文を発表した会員の中から、大学学部卒業後10年未満（またはこれと同等）の若手の科学者・技術者約10名を選び、学術奨励賞を贈呈し表彰いたしております。

つきましては、来る3月16日～18日に慶應大学・日吉校舎で開催される第36回全国大会での登壇発表者の中から、下記により受賞候補者1名をご推薦くださいますようお願いいたします。

また、第36回全国大会参加者には会場に推薦用紙を用意してありますので、会場でご推薦くださるようお願いいたします。

なお、受賞者の選定は学術奨励賞委員会（委員長 石井副会長）で行い、その発表と表彰は本年9月に開催の第37回全国大会（立命館大学）時に行われる予定です。

### 記

#### 選定範囲および推薦数

第36回全国大会で発表された優秀な論文の登壇発表者1名

**推薦資格** 本学会正会員に限る。

**推薦方法** 官製はがきに、推薦する論文の①講演番号 ②題目 ③登壇発表者名 ④所属 ⑤出身校（学部）卒年 ⑥推薦理由および推薦者の氏名、所属、住所をもれなくご記入のうえ、本会学術奨励賞係あてお送りください

**推薦締切** 昭和63年3月31日（当日消印有効）

### 表彰規程（抜粋）

#### 第5章 学術奨励賞

第19条 学術奨励賞は、情報処理に関する学問、技術の奨励のため、有為と認められる新進の科学者または技術者に贈呈する。

第20条 学術奨励賞を受ける者は、全国大会において優秀な論文を発表した者で、つぎの各号に該当する者から選定する。

- イ 選定の時期において本会会員であること（選定の時期とは、第1回の委員会開催時とする）。
- ロ 講演の時期において大学の学部卒業後10年未満の者またはこれと同等と認められる者であること。
- ハ 大会参加申込の際講演者として登録かつ講演を行った者であること。
- ニ 本奨励賞を受けたことのないものであること。

第21条 第20条の選定は、全国大会終了後速やかに行う。

第22条 学術奨励賞は、毎回約10名ずつ選定し、贈呈する。

第23条 学術奨励賞は、賞状、賞牌および賞金とする。

- 2. 賞金は、1名につき20,000円とする。

## 支 部 だ よ り

## 中 部 支 部

## 講 演 会

期 日 昭和 63 年 2 月 18 日 (木) 13:10~15:00  
 会 場 名古屋工業大学電気情報工学科 3 号棟 2 階 J 2 教室  
 演 題 これからの社会と認知科学 戸田 正直 (中京大)  
 参 加 費 無 料 (参加資格は問いません.)  
 問 合 せ 先 名古屋工業大学電気情報工学科 岩田 彰 Tel. 052 (732) 2111

## 講 演 会

期 日 昭和 63 年 2 月 20 日 (土) 14:00~15:30  
 会 場 名古屋大学工学部 5 号館電気系大学院講義室  
 演 題 並列オブジェクト指向型プログラミング 米澤 明憲 (東工大)  
 参 加 費 無 料 (参加資格は問いません.)  
 問 合 せ 先 名古屋大学工学部電気第二学科 稲垣康善 Tel. 052 (781) 5111(内 3306)

## 関西支部セミナーの開催について

「ソフトウェア開発の技法と環境」をテーマとして、下記によりセミナーを開催いたします。  
 多数の方々のご参加をお願いします。

期 日 昭和 63 年 2 月 16 日 (火)~17 日 (水)  
 会 場 大阪倶楽部 (大阪市東区今橋 5-11)  
 参 加 費 18,000 円  
 プログラム 前号本欄参照  
 申 込 先 〒530 大阪市北区梅田 1-3-1-800 大阪駅前第 1 ビル 8 階  
 (財)関西情報センター気付 情報処理学会関西支部 Tel. 06 (346) 2541

## 論文誌および欧文誌のご購読について

論文誌「情報処理学会論文誌」(月刊)および欧文誌“Journal of Information Processing”(略称 JIP・季刊)は下記のとおり、有料頒布となっております。

新規に購読を希望される会員は下記の申込書(コピーにて可)にて、お申し込みください。郵便振替口座番号、取扱銀行、送金先等は2月号159ページにあります。

年間購読料	会 員	非 会 員
論 文 誌	4,500 円	7,800 円
欧 文 誌	3,000 円	6,000 円 (海外 7,000 円)

昭和 年 月 日

### 論文誌・欧文誌購読申込書

下記により購読を申し込みます。(該当欄を○で囲む) 会員 No. \_\_\_\_\_

1. 氏 名 \_\_\_\_\_ 会員 (正, 学生, 賛助)・非会員

連絡先 (〒 \_\_\_\_\_)

Tel. \_\_\_\_\_

送本先 (〒 \_\_\_\_\_)

注) 会員には学会誌の送付先に送本いたしますので、送本先の記入は不要です。

2. 購読希望誌 (申込月の翌月以降の発行誌から送本します。送本希望欄は特に必要な場合のみ記入)

a. 情報処理学会論文誌 ( \_\_\_\_\_ 巻 \_\_\_\_\_ 号から送本希望)

b. 欧文誌“Journal of Information Processing”( \_\_\_\_\_ 巻 \_\_\_\_\_ 号から送本希望)

3. 送金の方法

¥ \_\_\_\_\_ 也をつぎによって送金いたします。(送金月日 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日)

a. 現金書留    b. 郵便振替    c. 銀行振込 ( \_\_\_\_\_ 銀行宛)

4. その他 (学会事務局への連絡事項)

昭和 年 月 日

## 研究会発表申込書

太線枠内のみご記入ください。

研究会名	研究会										
発表希望の 研究会開催日	昭和	年	月	日	( )						
タイトル											
発表者名 (略称所属)											
概要 (50 字以内)											
原稿用紙送付先住所	〒			Tel.	—	—	(内線 )				
氏名											

昭和 年 月 日受付

研究会名	資料 No.	開催日	幹事送付済み	その他
		昭和 年 月 日		